

大・タイガー立石展 世界を描きつくせ!

とき・11/16(火)～1/16(日)

ところ・2階展示室

内容・美術家として出発し、漫画、イラストレーション、絵本へと活動の場を拡げ、文化のヒエラルキーを徹底的に解体していったタイガー立石(本名・立石紘一/1941～98)。見事な画力によって、イメージを大胆に引用・再編し、奇想天外な時空間の変容を描く作風は、世代を超えて今日の若いアーティストに刺激を与え続けています。うらわ美術館との2館同時開催となるこの展覧会では、最初期の60年代の活動、70年代のイタリアでの仕事、帰国後の制作を大規模に回顧し、その全貌に迫ります。



《アンデスの汽車》1997-98年 東京ステーションギャラリー蔵 (埼玉県立近代美術館で展示)

観覧料(埼玉県立近代美術館)・一般1100円(880円)、大高生880円(710円)

※ ()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

観覧料(うらわ美術館)・一般620円(490円)、大高生410円(320円)

※ ()内は20名以上の団体料金。中学生以下の方は無料。障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名を含む)は半額。

※ 観覧済の有料観覧券のご提示により、「リピーター割引」として団体料金でご覧いただけます。(観覧日から1年以内、1名様、1回限り有効)

とら割 埼玉県立近代美術館またはうらわ美術館で「大・タイガー立石展」の「一般」もしくは「大高生」の観覧券を購入すると、2会場目の観覧料が200円割引になります。2会場目の観覧券購入の際に、1会場目で配布される「とら割券」をご提出ください。その他の割引との併用はできません。「とら割券」1枚につき、1名様のみ、1回限り有効です。

うらわ美術館

所在地・さいたま市浦和区仲町2-5-1 浦和センチュリーシティ3F TEL・048-827-3215

開館時間・10:00～17:00(金・土曜日は20:00まで)(展示室への入場は閉館の30分前まで)

休館日・月曜日(1月10日は開館)、12月27日～1月4日、1月11日

交通・JR浦和駅西口から徒歩7分



《大正伍萬浪漫》1990年 田川市美術館蔵 (埼玉県立近代美術館で展示)

MOMAS コレクション (収蔵品展)

2021年度 第3期

とき・10/23(土)～2/6(日)

※ 会期中一部作品の展示替えがあります。前期:12/12(日)まで/後期:12/14(火)から

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※ ()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇セレクション

キスリングほか、MOMASコレクションの名品を紹介します。

◇特集:中野四郎

美術団体「九元社」及び「創型会」を創設し、また、埼玉県

※ 本紙記載の展覧会やイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。



所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
URL・https://pref.spec.ed.jp/momas/
開館時間・10:00～17:30 (展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日(1/10は開館)、年末年始(12/27～1/6) 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。



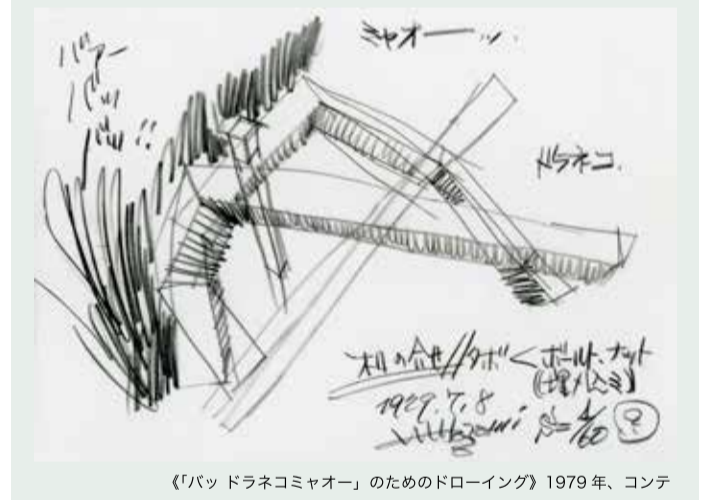
コレクションノート

《「バッドラネコミャオー」のためのドロイーグ》1979年

「コレクションノート」2作品目は、最上寿之さんの作品についてご紹介しましょう。MOMAS コレクション第2期(2021年7/17～10/17)では立体作品《バッドラネコミャオー》(1979年)と、それに関連するドロイーグ4点が展示されました。このドロイーグは、1994年の常設展(現在の「MOMAS コレクション」)の1コーナーである「現代彫刻の一光景」で初めて公開されたものです。展示室のほぼ3分の2を使い、当館が所蔵する抽象の立体作品8点と、可能な限りそれに係わるドロイーグを組み合わせて構成した展示でした。その中の1点が《バッドラネコミャオー》。第12回神戸須磨離宮公園現代彫刻展(1990年)で最上さんの作品に埼玉県立近代美術館賞を出したものの、当館では敷地に限りがあるため大きな野外彫刻を受け入れることが出来ず、その代替として、東京画廊の個展で発表されたこの作品を購入したのです。

「現代彫刻の一光景」の準備にあたり、最上さんに「あの作品のアイデアスケッチなどお持ちでないでしょうか」とお尋ねしたところ、早速6点のドロイーグを送っていただきました。いずれも1979年の年記があり、明らかに「ドラネコ」なのが1点、「ドラネコ」の2パーツそれぞれと思われる2点、そして同じ個展で発表した《ヤットコ、ヤットコ、クリダシタ》などの3点が入っています。お礼の電話をさし上げたところ、たしかに厳密にはドラネコだけとは言えない、でも、あの個展の主題自体を示したいから、むしろ併せて展示してもらいたいとお話でした。「ドラネコ」は、準備段階で撮影された写真(カタログに掲載されている)では1体でしたが、個展会場の記録写真では2体を組み合わせて1点となっていましたから、そうした経緯もふまえてのご意志だったのでしょうか。そして、いつものおらかな声で「展示が終わったら、一緒に持っててよ!」と快く寄贈を申し出てくださったのです。

後日談をひとつ。この時の展示では、清水九兵衛さんの《MASK 連想II》(1991年)も展示したのですが、こちらはご本人でなく、この作品を扱った画廊に「ドロイーグがあれば拝借したい」と連絡したのです。すると、手配してくださったそれは、何と新しく制作されたイメージ・ドロイーグ…。まさか新作をわざわざ!?と少し青ざめました。しかし、せっかくの所蔵作品の分身です。むざむざ手離すわけにもいかず、展示後は購入の手続きを経て収蔵の運びとなりました。後にそれを知った最上さんは、しまった! 寄贈は早まったなあ!! とちょっと悔しさをにじませつつも高らかに大笑い。申し訳ない次第となってしまいました。開館以来、企画展などの機会を通じて当時の当館のほとんどの学芸員が最上さんと接点がありましたから、その笑い声からは、自分の作品を評価してくれている美術館に対する温かな思いが伝わってきます。受話器を手に深くと頭を下げるしかありませんでした。(O.H.)



《「バッドラネコミャオー」のためのドロイーグ》1979年、コンテ

一般展示室 (地階)

※ 日程・内容は変更される場合があります。当館ホームページで最新内容をお知らせしています。

※ 展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

- ◆12/7(火)～12/19(日) 竹内君恵絵画展……………一般展示室3
- ◆12/8(水)～12/12(日) 第12回埼玉県障害者アート企画展……………一般展示室1・2
- ◆12/14(火)～12/19(日) 第55回全日本書道芸術院展……………一般展示室1・2
- ◆12/25(土)〈16:30まで〉～12/26(日)〈15:30まで〉 第56回郷土を描く児童生徒美術展……………一般展示室1～4
- ◆1/11(火)～1/16(日) 第24回凧の会展……………一般展示室1～4
- ◆1/25(火)～1/30(日) 文教大学美術専修卒業制作展……………一般展示室1 文教大学美術専修卒業生展……………一般展示室4

ミュージアム・ショップおすすめ商品

前号に引き続き、2022年カレンダーのご紹介です! 毎年大好評のペーパークラフトカレンダー。6種類の動物や生物が台紙にセットされており、パーツを取り外して組み立てると、表裏で2か月表記のカレンダーになります。目の届くところにちょこんと、かわいらしいカレンダーを置いて毎日楽しみませんか。お年賀にも最適です。



Dogs・Aquariumカレンダー 各2,200円(税込)

zocalozocalo 編集後記 zocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalo

B面の「大・タイガー立石展」欄に掲載した《大正伍萬浪漫》は、明治・大正・昭和をテーマに描いた大画面三部作のうちの1つ。三作あわせて幅18m近くになるこの大作は必見です!(M.H.)

zocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalo